

# NEWS RELEASE [www.jogmec.go.jp](http://www.jogmec.go.jp)



独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先: CCS 推進グループ 地下評価技術チーム 岡部、三上

電話: 043-276-4382

広報担当: 総務部 広報課 尾崎 電話: 03-6758-8106

## インドネシア陸上油田における CO2 圧入開始について

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:細野 哲弘)は、PT Pertamina (Persero) (以下、「プルタミナ」)及びPT Pertamina EP(以下、「PEP」)とインドネシア・西ジャワ州の陸上ジャティバラン油田において石油の増進回収やCO2地下貯留の実装を目的としたCO2圧入を開始したことをお知らせします。

本事業は 2022 年 8 月に JOGMEC、プルタミナ及び PEP が締結した共同研究契約に基づき、ジャティバラン油田において CO2-EOR(注 1)及び CCS(注 2)実装の初期段階として、CO2 Huff and Puff 試験(注 3)を実施するものです。本試験は減退油ガス田における CO2-EOR 及び CO2 貯留効果を検証するためのデータ取得を目的としています。

2022 年 10 月 26 日の CO2 圧入開始の際には、インドネシアエネルギー・鉱物資源省のツツカ石油・ガス総局長他同席のもと、ジャティバラン油田にてセレモニーが実施されました。

本事業は、プルタミナ及び PEP がインドネシア国内の減退油ガス田に対して実施する初の CO2 圧入であり、インドネシアにとって CCUS(注 4)の 1 つである CO2-EOR 技術の導入による原油増産と CO2 排出量削減に向けた重要なステップとなります。

また、JOGMEC にとっても、2011 年のベトナム洋上での CO2-EOR パイロットテスト実証試験以来の東南アジア地域における CO2 圧入実証試験であり、東南アジア地域における脱炭素化に向けた重要なステップとなります。

本件は、経済産業省が進めるアジア・エネルギー・トランジション・イニシアチブ(AETI)の一環で進めており、アジア大での CCUS ネットワークの構築に資する取組です。JOGMEC、プルタミナ及び PEP は、ネットゼロカーボン社会の実現に向けたエネルギー・トランジションに積極的に取り組むとともに、長期的なエネルギーの開発・安定供給への責任を果たしてまいります。



インドネシア・西ジャワ州の陸上ジャティバラン油田における CO2 圧入サイト。写真右側の白いタンクから CO2 を供給し写真左側の坑井(青い構造物)から CO2 を圧入する。

(注 1) CO2 を利用した原油の増進回収(Enhanced Oil Recovery)

(注 2) 二酸化炭素回収・貯留(Carbon dioxide Capture and Storage)

(注 3) 同一坑井において CO2 圧入とその後の生産を実施する試験

(注 4) 二酸化炭素回収・有効利用・貯留(Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)

#### ■参考

インドネシア陸上油田における CO2 圧入(CCUS)の実施について(2022 年 8 月 31 日)

(URL)[https://www.jogmec.go.jp/news/release/news\\_10\\_00039.html](https://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_00039.html)

ベトナム洋上ランドン油田における CO2-EOR パイロットテストの成功について

～洋上での CO2 圧入技術を確立～(2012 年 2 月 29 日)

(URL)<https://www.jogmec.go.jp/news/release/release0390.html>